

お知らせ

記者発表資料	平成27年3月25日
配布日時	14:00

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ



中国地方の

「道の駅」の利用状況が分かった！

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、現在では全国で1040箇所に広がり、地元の名物や観光資源を活かして、多くの人々を迎え、地域の雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上にも貢献しています。

そこで、中国地方整備局では、中国地方の「道の駅」がどのような利用をされているのかを、ビッグデータを用いて分析しましたので、お知らせ致します。

この分析結果により、それぞれの「道の駅」が今後取り組むべき方向性等の検討がされ、より一層のサービス向上が図られることが期待されます。

- 主な特長**
- 中国地方の「道の駅」利用者は平均約6割が県内利用である。
 - 県内利用は、日帰りで移動時間が片道3時間以内の利用が多い。
 - 広域交通(空港、高速IC)ネットワーク近くや著名な観光地近傍は、中国地方外からの利用が多い。
 - 鳥取県、島根県の「道の駅」利用者は、主な目的地まで3時間以上要す長い移動が多く、目的地までが遠い移動中の利用が見られる。
 - 温泉施設等特色のある「道の駅」は、滞在時間が長い。
 - 立ち寄り地が企業団地等のビジネス利用も多く、「道の駅」が、年間を通し、様々な移動の休憩場所として活用されている。

<問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231 (代表) : (平日・昼間)
 道路部 地域道路調整官 たかはし 高橋 としあき 利彰 (内線4118)
【担当】 道路部 道路計画課長 おかもと 岡本 まさゆき 雅之 (内線4211) (分析担当)
 交通対策課長 はらだ 原田 てるじ 光治 (内線4511) (道の駅担当)



国土を整え、全力で備える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

【広報担当窓口】

広報広聴対策官

さかもと
坂本

しげゆき
繁幸

(内線 2 1 1 7)

企画部 環境調整官

たお
田尾

かずや
和也

(内線 3 1 1 4)

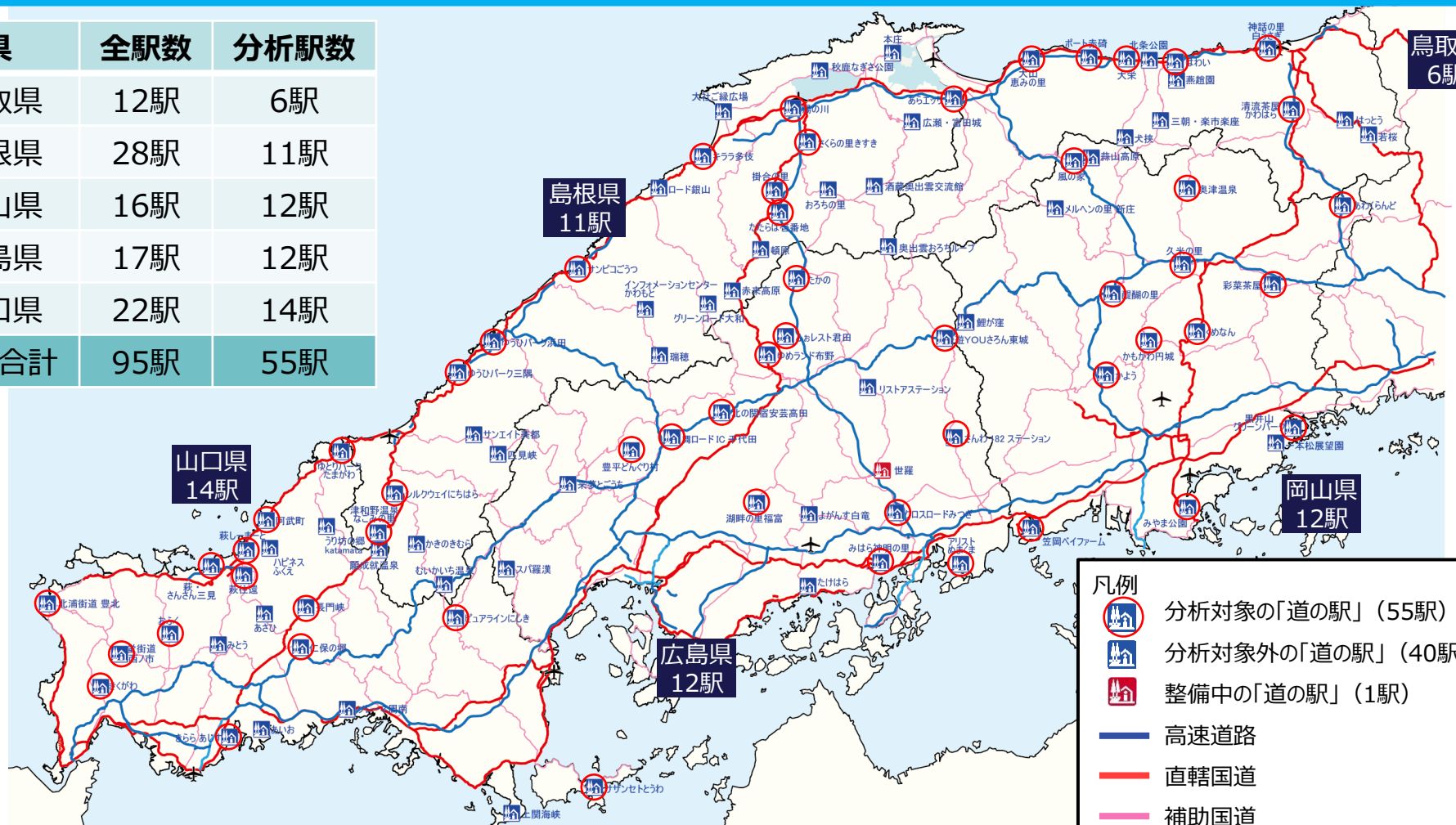
「道の駅」の利用状況に関する分析について

- 中国地方で開業している「道の駅」は95駅※1です。 ※1：平成26年末時点
- 「混雑統計®」※2で統計的処理に必要な利用者データ数が確保できる55駅(中国地方全体の約6割)について、利用状況に関する分析を行いました。

※2 NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスの「地図アプリ」「ご当地ガイド」において、オートGPS機能を利用されている方より、利用許諾を得た上で送信される位置情報をNTTドコモからの委託によりゼンリンデータコム社が個人が特定されないよう集計・処理したうえで提供するデータ。

中国地方の道の駅

県	全駅数	分析駅数
鳥取県	12駅	6駅
島根県	28駅	11駅
岡山県	16駅	12駅
広島県	17駅	12駅
山口県	22駅	14駅
中国合計	95駅	55駅



凡例

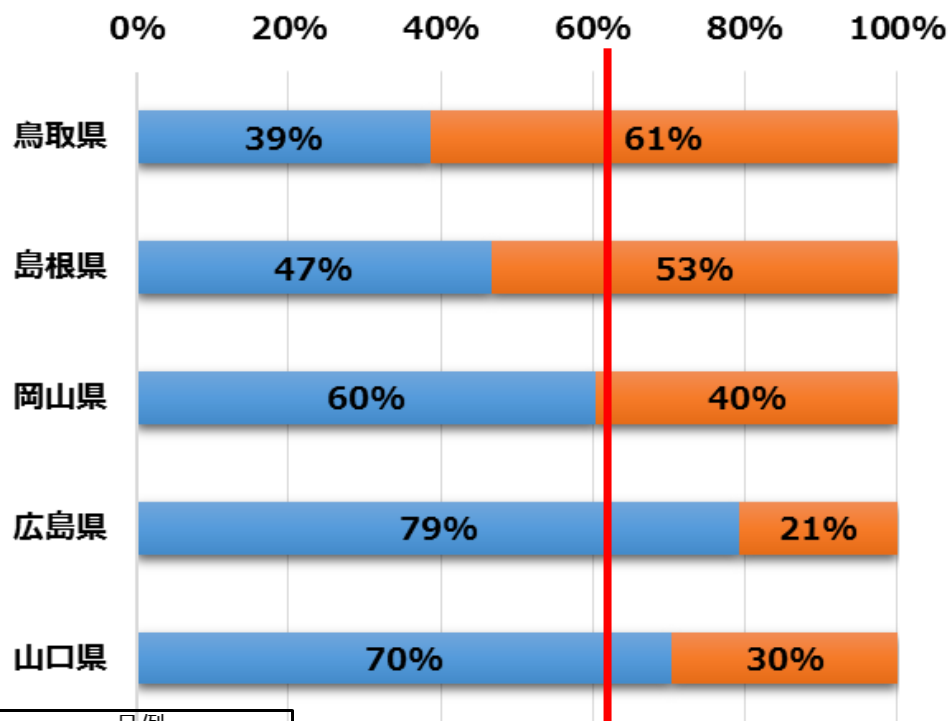
- 分析対象の「道の駅」(55駅)
- 分析対象外の「道の駅」(40駅)
- 整備中の「道の駅」(1駅)
- 高速道路
- 直轄国道
- 補助国道

※道の駅開業状況は平成26年末時点

中国地方の「道の駅」は県内外の利用者の割合が県毎に異なる

- 中国地方の「道の駅」は、県内からの利用者が平均62%と県内からの利用者が多い傾向が見られます。
- ただし、県により傾向は異なり、鳥取県、島根県は県外からの利用者が他県と比べ多い傾向が見られます。
- 県内からの利用者が多い「道の駅」は、日帰りの目安とされる「片道3時間」以内の利用者が多い傾向が見られます。

道の駅利用者の出発地（県内外の別）



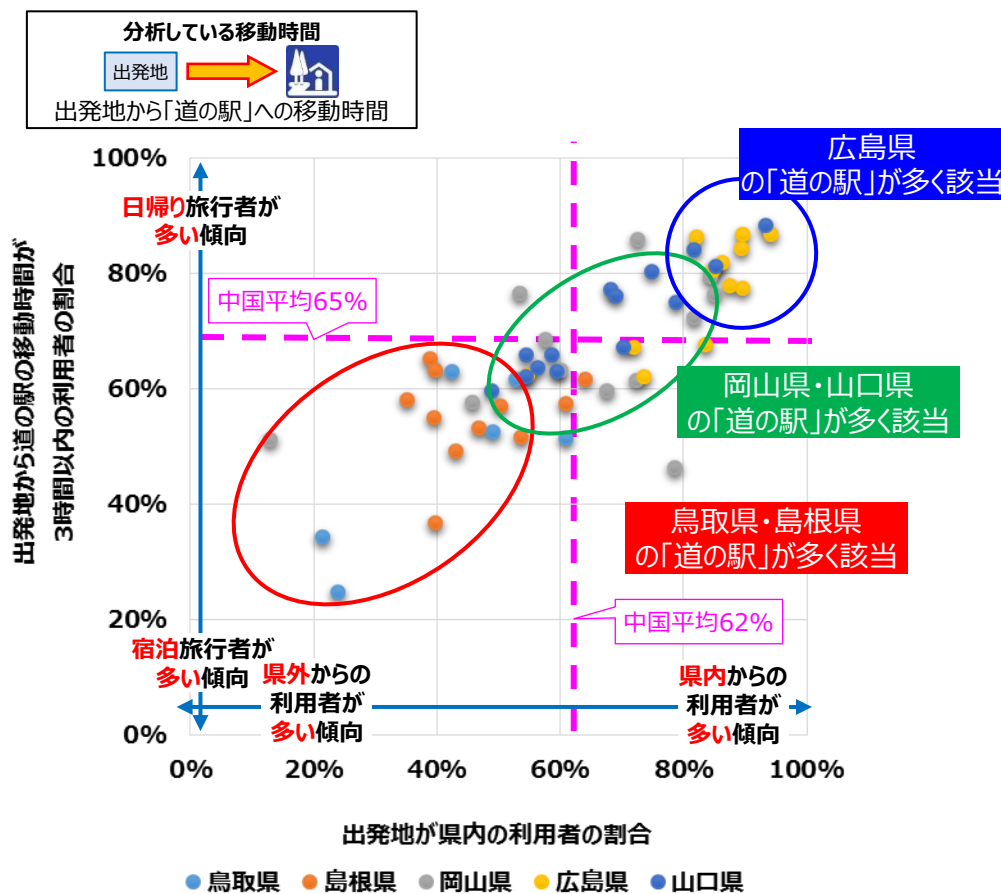
凡例
■ 利用者の出発地が県外
■ 利用者の出発地が県内

**県内からの利用者割合
中国地方
平均62%**

「混雑統計」®©ZENRIN DataCom CO., LTD.

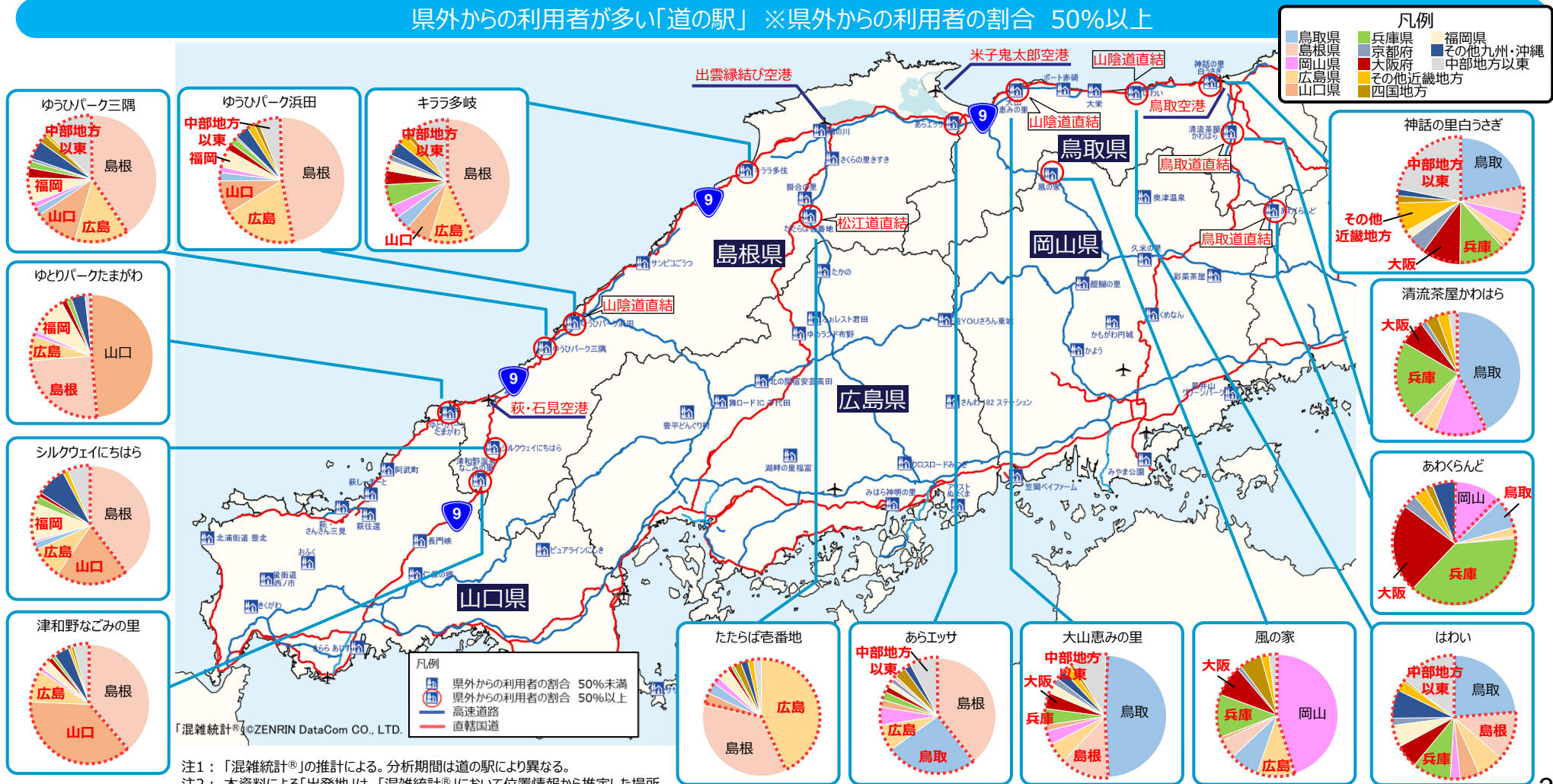
注1：「混雑統計」®の推計による。分析期間は道の駅により異なる。
 注2：本資料による「出発地」は、「混雑統計」®において位置情報から推定した場所。

〔県内からの利用者の割合〕と
〔道の駅への移動が3時間以内の利用者の割合〕の関係



- 県外からの利用者が50%を超える「道の駅」は山陰側の国道9号沿道に多い傾向が見られます。
- 「たたらば壱番地」や「清流茶屋かわはら」など、高速道路に直結する「道の駅」も県外からの利用者の割合が多い傾向が見られます。
- 「神話の里白うさぎ」や「ゆうひパーク三隅」等、空港近傍の「道の駅」には中部地方以东等遠方からの利用者の割合が多い傾向が見られます。

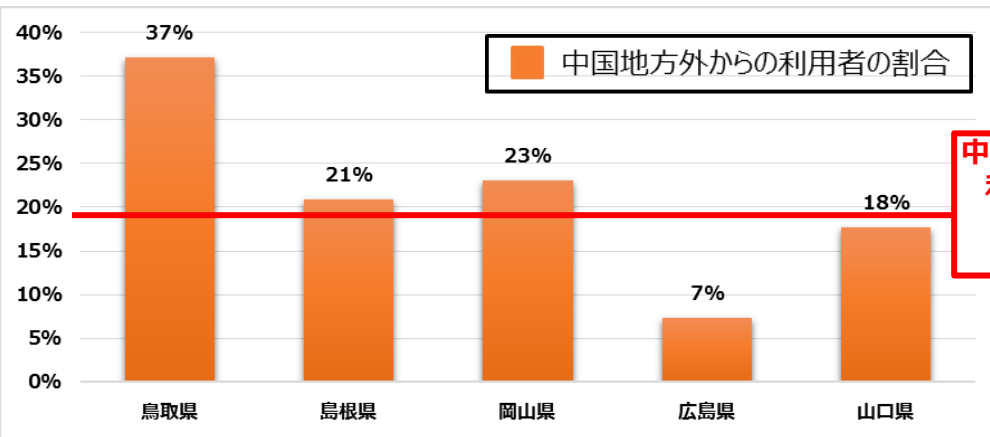
県外からの利用者が多い「道の駅」 ※県外からの利用者の割合 50%以上



有名観光地等の周辺の「道の駅」は遠方からの利用者が多い傾向

- 中国地方の「道の駅」では、利用者の約19%※が中国地方外から来訪しています。 ※分析対象55駅の平均
- 周辺に全国的な有名観光地や空港がある「道の駅」は、中国地方外からの利用者が多い傾向が見られます。
- 特に、鳥取県・岡山県の兵庫県に近い「道の駅」は、中国地方外からの来訪が多い傾向が見られます。

中国地方外からの利用者が多い「道の駅」 ※中国地方外からの利用者の割合 19%（中国地方の「道の駅」平均）以上



中国地方外からの
利用者の割合
中国地方
平均19%



凡例

- 中国地方外からの利用者の割合 19%未満
- 中国地方外からの利用者の割合 19%以上
- 高速道路
- 直轄国道
- 有名観光地

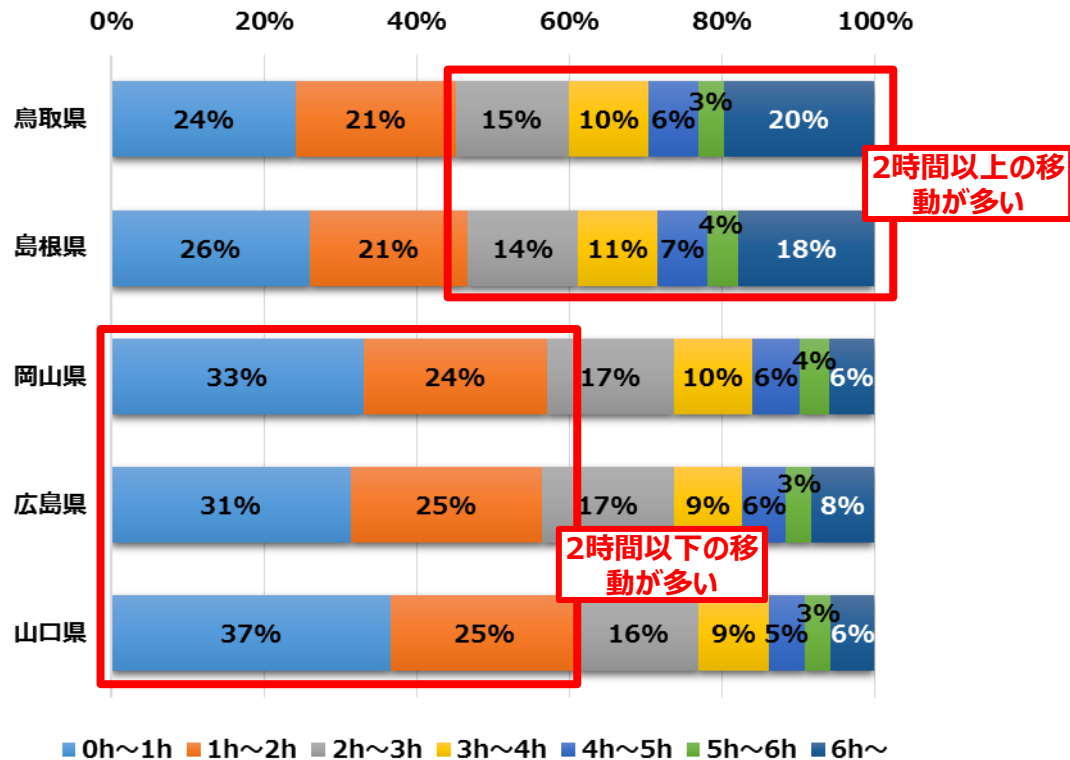
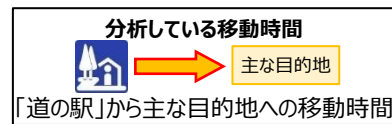
「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.

「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.

注1：「混雑統計®」の推計による。分析期間は道の駅により異なる。
 注2：本資料による「出発地」は、「混雑統計®」において位置情報から推定した場所
 注3：主要観光地は「未来ビジョン中国21（中国地方整備局）」による。

- 県外からの利用者が多い鳥取県・島根県の「道の駅」は、他県の「道の駅」利用者と比較して「主な目的地」までより時間をかけて移動する傾向が見られます。
- これは、島根県・鳥取県は、県外からの利用者が多い傾向が見られ、また、鳥取県の鳥取市から島根県の出雲市にかけて観光地が点在しているため、宿泊をとまなう広域的な観光周遊で利用されることが推察されます。

「道の駅」から「主な目的地」までの移動時間



注1: 「混雑統計[®]」の推計による。分析期間は道の駅により異なる。

「混雑統計[®]」©ZENRIN DataCom CO., LTD.

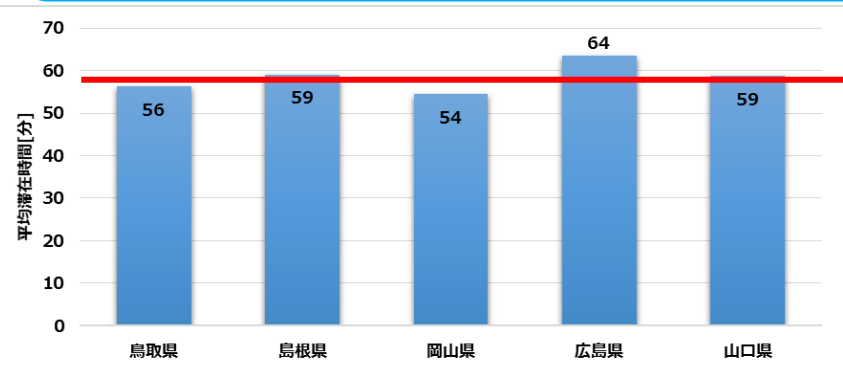
注2: 本資料による「主な目的地」は、「混雑統計[®]」において位置情報から推定した最も滞在時間の長かった場所。

注3: 利用者の移動目的は様々（観光、業務、通勤等）であるが、ここでは、総じて「旅行」と表現した。

特色のある「道の駅」は利用者の滞在時間が長い傾向

- 中国地方の「道の駅」の利用者の平均滞在時間は約59分です。 ※分析対象55駅の平均
- 利用者の滞在時間の長い「道の駅」は温泉施設の設置やバイキングレストランなど、特色ある独自の取組を行っています。

「道の駅」の平均滞在時間



**滞在時間
中国地方
平均59分**

「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.

特に滞在時間が長い「道の駅」の特徴

ふるさとバイキング

写真：ゆめランド布野

温泉施設

写真：君田温泉

地域の方々の交流の場

ランチバイキング

写真：舞ロードIC千代田

親水公園の併設

写真：津和野町

イベントの開催

写真：萩さんさん三見

温泉施設

写真：津和野なごみの里

デイキャンプ場他

写真：湖畔の里福富

展望カフェテラス
多目的ホール

写真：みはら神明の里



「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO., LTD.

凡例

- 平均滞在時間70分以上の「道の駅」
- 高速道路
- 直轄国道

注1：「混雑統計®」の推計による。分析期間は道の駅により異なる。
 注2：本資料による「出発地」は、「混雑統計®」において位置情報から推定した場所。

業務の移動中にも「道の駅」が利用されています。

- 「道の駅」の利用者は、鳥取砂丘、出雲大社等の有名観光地に立寄っています。
- 一方で、市街地の鉄道駅周辺や商業集積地、臨海部の港湾や内陸部の工業団地等に立寄る利用者も見られ、ビジネスによる移動においても「道の駅」が利用される傾向も見られます。

利用者の立寄り地



凡例：年間立寄り者数（推計）

Red	30,000人以上
Orange	30,000人未満
Yellow	15,000人未満
Light Green	10,000人未満
Light Blue	5,000人未満
Dark Blue	3,000人未満

注1：立寄りとは同一箇所（3次メッシュ：1km×1km）に15分以上滞在した場合を指す。
 注2：立寄り地には主な目的地を含む。
 注3：データ数が少なく、個人情報保護の観点から秘匿となった立寄り地は表示していない。
 注4：立寄り者数は「混雑統計」の推計によるものであり、主要観光地の入込客数等とは一致しない。